

資料活用の留意事項

- 実際はまだ確立されていない防除技術の認識で参考にして下さい。
- 地域、標高、園によって草種類など生態系に違いがあるので・・・
その地域、園地に合った管理活用方法を見つけること。
- ハダニ発生の密度で、危険か余裕かは数字的に示されていないため、経験値での自分の数字を掴むことが必要となります。
- 初めから無理なことをしない、試行的範囲（園）で試してみること、危険値と思ったらダニ剤を使用して下さい。
- 第三者のアドバイザー（JA、普及所等）の相談役を付けておいて下さい。

※この資料は長野県における参考資料です。他県では天敵種類が異なるなど資料内容において参考にならない部分がありますのでご注意ください。

（一財）長野県果樹研究会